

For Adult

セーラー戦士
解剖
計画





うん...

今日は...
どうかしら...ね?

ゴ
ゴ
ゴ!



さあ...次は
ヴィーナスの
番だよっ★



白ならハズレで
赤なら大当たり
だからね

セーラームーン
福引きじゃ
ないんだから...



いやあくこれで
今晩もぐっすり
眠れるわあく

それじゃ二人とも
何も無いとは思うけど
一応気を付けて...

あんたはいつだって
よく寝てるじゃない



うへあつ!

当たり♥

ってことは
今日は私と...



ネプチューン...?

あの…
今日のパトロール
宜しくお願い
しますね

ネプチューンと
一緒だなんて…
ちよつと
緊張しちゃうかも

それじゃ…
行きましようか

はあ…
はいっ!

まあ…
こちらこそ
よろしく

この街では数ヶ月前に
深夜女性が襲われ
惨殺される事件が
続いた…

その直後から
セーラー戦士はこうして
夜のパトロールを
始めた訳なんだけど…





うくん…
今日も何も
起こりそうに
ないですねえ…



そのお陰か
それ以来の
事件では
よそはたり
止んでだけ
よ



ただでさえ真夜中で
眠いのに何も
起きないから
最近だれも
ないのだから
気味なの…



そうかしら…

こんな蒸し暑い夜…
何か起きそうなの
霧気は感じるわ



そ…それはっ！
私だって最初は
そう思ってたけどっ！
この数ヶ月事件どころか
人ひとり出会わない
じゃないですかっ！

いいんです私！
暑いし眠いし誰にも
見られてないですから！



だからって
アイス食べながら
パトロールつて言うのは
どうかと思うの…



私達は誇り高き
セーラー戦士…
どこで誰に見られても
恥ずかしくない気高い姿で
なくてはならないわ

ひっ！



そうね…
住民も用心して
夜間の外出は
控えてるようだし…

それにしても
あなた…
大丈夫なの？

ほへ？

あなた…
自分の健康の事など
考えた事あつて？

そんな毒々しい
原色のアイスなんて
食べたりにして…

大丈夫ですよ★
私ネフチューンより
ずっと若いですから！

それにしても
ネフチューンって外見も
言う事も実年齢より
ずっとと老け…

ふふっ…あなた
口のきき方にもっと
気を付けなさいと…

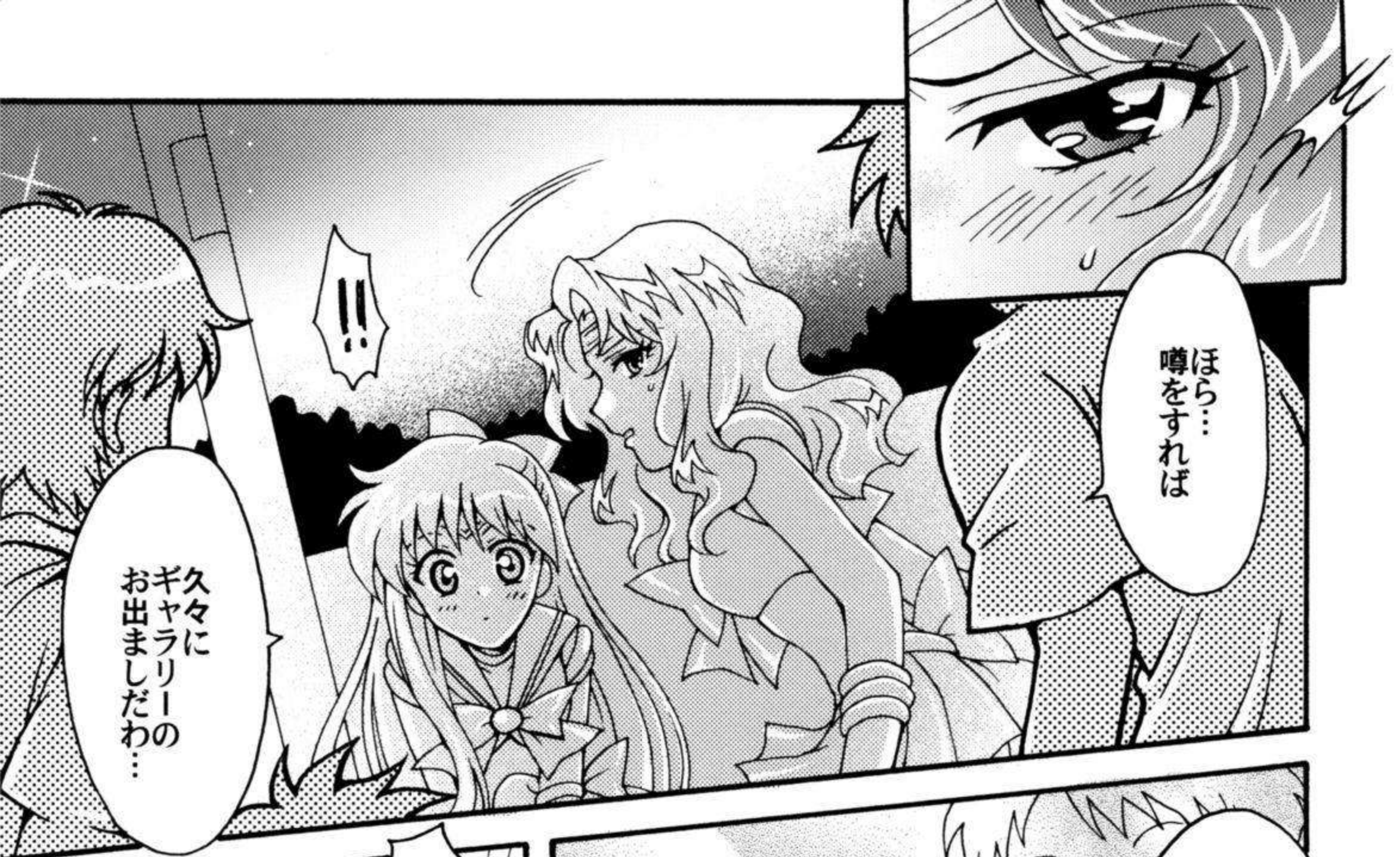
あなた自身が新たな
犠牲者になってしまっ
かも知れなくもっ…

いやあああ…
すみませんっ！
ごめんなさいっ！

あら…ほんの
冗談だったのに
ほら立って…

は…はい…

嘘よ…
今までにない
凄く殺気だったわ…



ほら…
噂をすれば

久々に
ギヤラーの
お出ましだわ…



って…
あなた達
子供じゃないの！

しかも
どう見たって
○学生！

こんな時間に
何やってるのよ！
早く帰って寝なさい！



うわあ…
セーラー戦士って
本当に実在してた
なんて…

なんて綺麗で上品なんだろう
セーラーネプチューンは…
優雅で上品で憧れるよ…
会えて良かった！

気高いって言うか
神々しいって感じだよね…
セーラーヴィーナス
可愛すぎる…！



うんうん…

子供にしては
よく分かってる
じゃないの…



ふくん…
結構いい乳…

ちよっ…!!
どこ見てんの!
返事は?



じゃあ僕らの力で
この二人を半殺しにして
セーラーズーツの防御力とか
セーラー戦士の攻撃力とかを
試してみようよ!

この優雅で気高い
セーラーネプチューンの顔が
苦悶に歪み
断末魔の叫び声を上げる…
堪らないねっ!



これが噂の
セーラーズーツか

こんな細かい付くような
きめ細かい艶を放つ
レオタード素材も…
凄く防御力を
発揮するんだって!
試してみたいなあ…



あんた達がどれだけ
この神々しい
セーラーヴィーナスを
妄想の中で犯して…
ちよっとしてグロイ事象像して
おつきしても結構ですけどね

現実じゃ
そうはいかないわよ…
だいたいどこの世界で
正義の味方が子供と
戦って負けるのよ?



そうだね!
僕らがこんなアホそうな
金髪女なんかには
負ける訳ないもんね!



あのねえ…

寝言は寝てる
時に言うから
許されるのよ?

じゃあさ…もし
僕たちが勝ったら
言う事聞く？

フフツ…いいわよ
何でも
聞いてあげる♡

そのかわり
私達が勝ったら
大人しく帰るのよ？

それで
いいですよね
ネプチューン？

勝手に
決めないで
下さる…？

さあ…
どこからでも
かかってきなさいっ！

仕方ないわね…
お相手させて
頂くわ



フフツ…怖いのか？
本気出したりしないから
とりあえず来なさいよ♡

ヴィーナス！
来るわっ！

な…なんつで！！
こんな事！！

あれえ？
これくらいも
脱出できないの？

あぐあっ

アホッ…

ズッ♡

ガキッ…

グッ…

ガキッ…

そんなっ！
ヴィーナス！
!?

ふふ...

人の心配より
自分の心配した方が
いいと思うよ？
セーラーネプチューン

あ...

あ...
あぐあつ...

ほくら
つかまえたっ♡

早くう♡
優雅に活躍してよ
ネプチューン？

ぶぐえつ...

流石のネプチューンも
優雅な顔で失神は
出来ないみたいだね♡
格好悪いなあ♡

エエ...

エエ...

仕方ないなあ…
これで目を
覚ましてよねっ！



あぐっ…
ひいっ！

ヒューッ
ヒューッ

ハッ
ハッ

ヒューッ



ひびっ
ひびっ

ハッ
ハッ

やめてええ…
し…死んじやうっ！

ハッ
ハッ



くっ……!

ズニャッ……

マジで？
もう終わりなの？

全然弱いじゃん……
これがセーラー戦士の
実力かよ……

なんで……
この子達……
強すぎるっ！

はあ……
なるほどね……
さっきは手加減して
あげたけど

あ……

そういう事なら
本気で行くわよ！

まあ……前の女は
今使った力の一割以下で
バラバラになっちゃったから
これでも女としては
強い方なのかもな

何が正義の味方だよ
こんなんで僕らの
平和が守れるの？
ぷぷっ……!

ま……
まさかっ！

この子達が
あの事件の
犯人……!?!



ビク
レツ
セント
ム

やっ...やば!
逃げろっ!

ギヤ
アア
アア
ツ

えっ…？

攻撃力は凄いののに
防御力がまるで無い…
どうしてなの？



ククツ…これでお前も
正義の味方では
なくなってしまうな
セーラーヴィーナス！

!?

誰なのっ!?

そいつは
攻撃力こそ我らが
与えたのだが…



特別な防御力は
何も与えていない…
つまりはそこらにいる
ただの子供に過ぎん

つまりセーラーヴィーナス…
お前はセーラー戦士で
ありながら普通の○学生を
殺害してしまったのだ

お前もそのガキ同様
立派に殺人犯の仲間入りだな
グハハハ！

いやああああ

え…っ…

そんな…っ…

カッガッ



酷い…
何て事を…

子供達を殺すくらいなら
むしろ奴らに
犯し殺される方を
喜んで選ぶよなあ？

フツ…正義の味方の
セーラー戦士がまさか
次世代を担う子供達を
殺す事など出来まい…

愚かね…
今の段階なら
子供三人の犠牲だけで
世界は救われる…

す…

この子供達には悪いけど
運がなかつたと思っ
て諦めて頂くとわ…
いくわよっ！

ディーブ…!?

ガシツ…

だめええええ！

これ以上
殺さないでっ！

くっ…!!

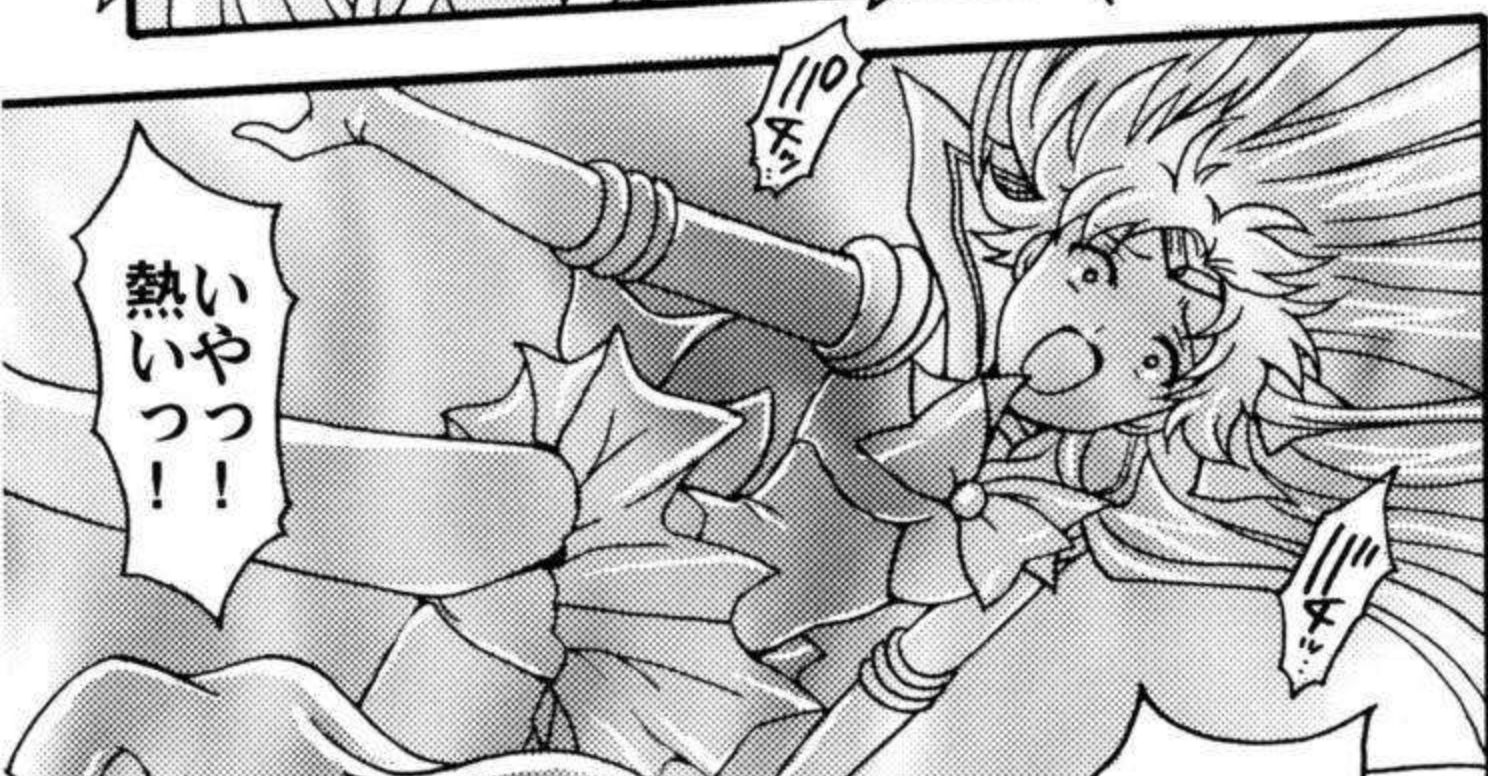


離しなさい
ヴィーナス!
ここで躊躇っては
セーラー戦士は全滅...

そうすれば
この世界も
終わるのよ!

あなた自身が
何を
分かっていて!?

だめええ...っ



熱いやっ!!



ククツ...早速
仲間割れか?
それいいい...



そんな...溶けるっ!
セーラーズのスーツの
防御力が
破られたというの!?



ハハッ...
チャンスだぞ
今だっ!

ホオオツ...

くらえっ!
焼け死ね
セーラー戦士!

ゴオオオ...

!!!



ククツッ…
よくやったぞ
子供達…



まずはこの液体を
口移しで
セーラー戦士共に
飲ませるのだ…!!



んむっ!



な…何よこれっ!

フツッ…これはお前達
セーラー戦士を
体内から破壊する
ウイルスを
大量に含有した液体だ

最もお前らの体の
防御能力は相当なもの…
このウイルスでは
破壊不可能な事は
すでに判明している



だがな…
ウイルス侵入時に
お前らの体で起こる
抗体反応…

ないやつ…
なに…っ!?

こんななされて
傷だらけで
動けないのに…

これが
見物なのだよ
ククツツ…

からだがつ…
…あそこが…
熱いつ…!!



子供達よ…
セーラー戦士達の
セーラースーツを
調べ上げるのだ

隅々まで調べろ…
何か隠し持っている
かも知れないからな

いやああ
やめてえっ!



おや…
早速効いて
きたようだな?

やつ…!

どうした
セーラーヴィーナス…
触りたいのか?
挿入れて欲しいのか?
クククツツ…!!

バカ…
言わないでよ…っ!

やっ…やめっ…
ひああんっ♡

凄…凄…凄…
ありながら数多の妖魔の攻撃を
凌いだ無敵の防御力を誇る
レオタード素材…
これが憧れのセーラーズ♡

こんな極薄で身体の
ラインくつきりの
レオタードなのに♡

ああ…何かここ
いい匂いがします…
美味しいですっ♡

ひゃんっ♡

スレっ♡

んっ…ネプチューンも
滑らかな手触りで…
大人っぽい香りがします♥

やっ…やめなさいっ!
こんな事が許されると
思っていて…!!

でも…何か息づかいが
荒くなってるみたい…
ただ触ってるだけなのに
変ですね…ククク…!!

くっ!

フッ…

フッ…

フッ…

フッ…

フッ…

フッ…

んくうっ…

フッ…

フッ…

フッ…

これがネプチューンの
セーラーズーツ♥舌
触りも最高ですっ

フッ…

ヴィーナスはもう
準備万端だな…
先に犯してやれ

どうしよう…私
セーラー戦士
なのにつ…!!

はいっ♡
こんなにイヤらしく
涎を垂らしてますねっ♡

子供なんかに負けた
上にいい様にされて
感じちやうなんて…

ヴィーナス…
逃げてええ!

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ!!

ズッ!!

ネプチューン
ごめんなさい…
私…もうっ…!!

ひいっ!
ふあああ♡

んっ…んくっ!
ああああっ!

ヒンゴン!!

ああ…♥
掌に吸い付くような
滑らかなセーラーズーツの
感触…すごいですっ!

みんなが憧れる
セーラーズーツの下に
こんないやらしい身体を
隠し持っていたなんて…

うああっ♥セーラー
ズーツ素材の手袋
気持ちよすぎますっ!

んふうつつ…
くひうつつ…♥♥

クハハハ

クハハハ

クハハハ

クハハハ

クハハハ

クハハハ

クハハハ

クハハハ

あんっ♥それ
すごすぎ…っ♥

セーラー
ヴィーナスも
所詮は
女なんです♥

あん…イクツ
イクウウウツ…♡



いやああ…♡
子供なんか
イカされちゃう…

ほう…仲間の痴態を
見せつけられても
その涼しい顔…

流石は気高き戦士
セーラーネプチューン…
誉めてやろう

あら…私には
このくらい
何でもなくてよ
くま…

そうか…では子供達よ
ネプチューンの腕を
締め上げるのだ…
具合を見てやれ!

気高き陸内の
具合をな!
グフフフ…!

きゃああつ!

あれ?おかしいですね
我々の攻撃など全然効いてない
優雅で気高い戦士
ネプチューンのはずなのに…

ほらっ…
愛液が垂れて
こんなに
絞れますよっ!

うわあ…格好悪いなあ…
強がっていても所詮は
ネプチューンもただの
淫乱セーラー戦士
だっただね♥

グッ!

フフフ…

ホァァ…

ハッ



くっ…何故
私の名前まで!?

フツ…
我らが何も調べず
性欲赴くままに
こんな事をしてい
とでも言うのかね?



ひああ…あつ
やめてっ…!

もっと濡らして
あげますよっ♡



はしたないな…
天才ヴァイオリニスト
海王みちると
あろう者が…

天王はるかに
愛撫されるよりも
ずつと濡れて
いるのではないのか?



まずはセーラー戦士を
おびき寄せる為…
初めに何の罪も
ない女を殺害

そして同じく罪のない
子供を洗脳し
尖兵に利用した上
手が出せない
セーラー戦士を抹殺・回収

我々の宿願…
それは
セーラー戦士
解剖計画だ…

な…っ
何ですって!?



普段の海王みちるでは
戦士の遺伝子は抽出
できないからな…
あくまで変身した
戦士の身体でなくては
ならなかつたわけだ



そして内臓の一つ一つまで
解剖し遺伝子情報を解析…
その情報を売り捌き
多額の金を得る

生身の人間でありながら
自らの肉体に
全くのダメージ無しに
これだけの攻撃力を
発揮できる遺伝子…
欲しがれる者など五万といる



つまり…
こういう事なのだが
これで分かるかな？
クククツツ…



結局…人間の本当の敵は
妖魔でも外部侵略者でもなく
人間自身の持つ
底知れぬ欲望…
って事なのね…

私達はその愚かな人間を
守る為に今まで
命を賭けて戦ってきたって
言う事なの…？

お前らのしてきた事は全て無駄だったというわけだ…

お前の命もあと僅か…
精々快楽に狂い
これから迎える悲惨な
最期を忘れるがいい

私は誇り高き
セーラー戦士…

はあ

はあ

例え戦いに敗れ
散ろうとも…
最後まで無惨な姿を
晒したりしないわ!

離しなさいっ
!!

そうだ…それでいい
それでこそ墮とし甲斐が
あるってものだ…!!

きやつ!

はあ

はあ

モリッ

アッ



あつ...♥
そんなっ
ダメよ...っ!

お願い...
目を醒ましてえ...



んふっ...
ネプチューンの
乳首♥
おいひい...っ♥

ひいっ!



これがあの
ネプチューンの腋...
舐めちゃおっ♥



皮肉な物だ...
ネプチューンの戦士の
色香が子供達の性欲に
完全に火を付けて
しまったようだ

アッ...

ネプチューン...なんだ
その大洪水は?
薬が効いているとはいえ
セーラー戦士の誇りとやらで
もう少し我慢したら
どうなんだ...?

んふう♥
いやあああ
言わないでっ!

アッ...

でっ…
どうしようかな？
このセーラー
ネプチューン…

ん…はあっ
くふうっ…♡♡

んくうっ♡

今まで僕たちの為に
戦ってきてくれてたしな…
こういう時は
本人の希望を尊重して
あげないかね！

でも…どうして
欲しいのか言って
くれないと
分からないよな…

まさかセーラー戦士の
中で最も気高い戦士の
セーラーネプチューンが
子供におねだり何て
するわけ無いけどね！
ぐふふっ…！！

負けたら下僕って
約束したし…まずは
その手袋で
してもらおうかな？

滑らかな
感触の手袋…
気持ちよさそうだねっ♡

でも…ただ
してもらっただけじゃ
つまらないな…
そうだったっ!

「必殺技ティープサブマージを操り
幾多の敵を殲滅してきた手袋なのに
あろう事かこの気高き手袋で敵の
性器を慰めご奉仕致します」

「どうかこの哀れな戦士
セーラーネプチューンの手袋の
感触をお楽しみ下さい」
って台詞を言ってもらおうかな♡

だっ…誰がっ!
そんな事っ!

いっの?
いっの?

言わないと
最後まで
絶対にして
あげないよ…?

!!

…分かり…
…ました…

必殺技ディープ
サブマージを操り…
幾多の敵を殲滅してきた
この…この
純白の手袋ですが…

この気高き装束で
あろう事か…
敵の性器を慰め…

…ほ…ほ…
奉仕致します！



どうかこの哀れな戦士
セーラーネプチューンの
手袋の感触…
お楽しみ下さい…



あ…ああつ
すごいつ…
♡♡

いいよおつ♡
ネプチューンの手袋…
きもちいいつ…♡

くうっ!
はあ
セーラーズーツ素材の
この滑らかな摩擦熱♥
すげーイイよっ!

さつきまであんなに気高く
美しかったネプチューンが
こんなにはした無く
僕らのにしゃぶりついて♥

んっ…くうっ!
射精すよっ!

子供のを2本も
なめ回してる
はしたないお口に
射精すよっ…!!

あ：イクっ♡
射精るよおおつ♡

ネプチューンの
その上品なお口で
受け止めてっ♡

僕らのをたっぷり
飲ませたし…
もう少しで完全に
堕ちるかな…？

ほらあ♡
ちやんと
飲んで！

んぐうつ！

これで
ネプチューンも
終わりだね♡

あ…あの…
もつと…

さつき飲まされた
精液のせいで
身体が…疼いてっ…

はあ？
聞こえませんかあ？

もつと…して…
欲しい…の…

もう
だめっ…
欲しいのっ！

もつと大きな声で！
人に物を
頼むんだからねっ！

お…
お願い…っ！

もう…がまん
できないのっ！

挿入れてええ

あはっ!
あはははっ!

やったぞっ!
遂にあの気高き戦士
セーラーネプチューンが
堕ちやがった!

ガッ!

でも…
まだまだ
だよなっ!

欲しかったら自分で
乗っかって自ら腰動かして…
「私はセーラー戦士なのに
子供なんか
犯されて感じちゃってます」
って叫ぶくらい
じゃないとねっ!

…っ!
駄目よ!
私には戦士の
誇りと使命が!

わ…分かったわ…

ダメよ…
戦わなくては…
それが使命…

グッ!

言いますっ!
言いますからっ

でも…
でも…使命なんて
どうでも欲しい!
挿入れて欲しい!

ヌッ!

ヌッ!

はぁ

はぁ

んん？

ズルズル...

聞いてっ...私...
セーラー戦士なのに...
子供に犯されて...
こうして...
自ら上になって...

はあ

んううっ...♡

んん...

ズルズルズルズル...

腰振って...
感じちゃって...
自ら望んで子供に
犯されてるのっ♡

ズルズル...

ズルズル...

ズルズル...

ズルズル...



あんっ♥
ごめんなさいっ
はるかあ…っ♥

こんな
きもちいいの…♥
はじめてなのお…♥

ふうくん？
じやあ言ってみてよ
ほらつつがいのか？

もつと
突き上げてえ！
かき回してっ♥

いいのおっ♥
はるかより
…ずつとお…

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

あー

あー

あー

あー

戦士の誇りも捨てて
子供なんかには
おねだりしちゃって…
本当に堕ちたんだね♥

ひやあっ♥

クソッ♥

アァァァ♥
アァァァ♥

アァァァ♥

ミユホッ♥
ミユホッ♥

ほらっ♥もう
イキたいんでしょ?

うささ♥

ああっ…♥
あああ♥
ああっ♥
ああっ♥
ああっ♥
ああっ♥

ドクドクッ♥

イクうう…っ

アァァァ♥

アァァァ♥



完全に堕ちたな…



最難関と目された
セーラーネプチューンが
我々の前に跪き
遂に堕ちた…

後の戦士達など
おまけに過ぎない

セーラー戦士
解剖計画…
成功はもはや
間違いない

フハハハハッ！



子供達…
よく働いたな
こちらへ来るのだ

はいっ！

次は何を
しましょうか？



聞け
子供達

最終任務を
与える…



さあ子供達
これを心して
見つめるがいい

私とお前達が
初めて出会った時の
ようにな…ククツ…

寿命を削って發揮された
セーラー戦士を軽く凌ぐ
お前らの強大な力も…

も…ど…る…

今から無くなり…
そしてお前達の体は
脆くなる…

次の合図で
お前達は戻る…
ただの子供に…!

ただの…
子供に…

終わりだっ!

ハッ…

この…声は
あの子達の…?

んっ…

はあ

はあ?

ちよつと…何してるのよ!
仲間なんでしょ?
酷い事するの
やめなさいよっ!

ようやくお目覚めか
長い昼寝だったな
ヴィーナス…

フッフ…

ぐっ…
うああっ!

く…苦しっ…!
たすけ…

仲間？
こいつらは殺人犯
当然の末路だ

正義の味方が快楽に
耽つていた物だから
私が代わりに始末して
やるのだよ：
始末と言つても洗脳を解き
元に戻したただけだが

催眠術であの子達を
操つていたって事？
酷いわ！あんなに
苦しんでるじゃない！

フツ…やはり
元・正義の味方でも
子供が心配なのか？

…くっ！

お前達を瀕死に追い詰め
犯し尽くしたそのガキ二匹だが…
お前達に飲ましたそのウイルスは
当然奴らにも吸収されている

セーラー戦士ですら
あの有様だからなら
生身の子供など
すぐ死に至る…

だが…ウイルスの
抗体さえあれば回復可能だ
お前達が驚異的な抵抗力で
体内で作り上げた
抗体さえあれば…

フツ…
惜しいな
ハズレだな

!!

要るのは…
その大事な所から
少しずつ溢れ出る愛液…
と言つたらどうする？
セーラーヴィーナス…
ククツ…!!

よく
わからないけど…

私の血を
輸血するとかすれば
その子達は
助かるって事？

や…っ！
何言ってるのよ！
変な事
言わないでよっ！

別に信じて
もらわなくても
こちらは構わない

元・正義の味方が子供を
二人見殺しにしたって
誰も責めはしない…
そうだろうか？

どうすれば
いいの…？

それにあいつらは
お前達を散々罵り…
犯し…辱めた者達だ…
どう扱おうと
お前らの自由だがな

確かに私達は
あの子達に
犯された…

でも苦しんでいる
子供達を放っておく
なんて出来ない！

うえっ…
助けてえっ！

ネプチューン…
ヴィーナスっ！

その子供達を
必ず助けてみせる…

…わたし…
やるわ

だって私は
セーラー戦士ですもの

フツ：
セーラー戦士共の
忠誠心は
よく分かった…

あつ♡

あんっ…♡
だつてえ…

早く…たくさんと
愛液を出さないと
子供達が…♡

はあ

くっ…!

だがまさかあの
ネプチューンまで
参加とはな…

ヌクッ♡
ヌクッ♡

ハッ♡

ハッ♡





ヴィーナスの方は早くも愛液が… 出始めてるな…

あんつ♥ 見ないでえ…

手慣れてるようだが… いつもそうやって変身しての自慰行為でセーラーズスーツの感触を楽しんでいるのか？

は…はい… 手袋が気持ちよすぎて…

変身という聖なる力をこんな事に使つてはいけないと分かつていたのに…



ネプチューンは手が止まつてるな… プライドが邪魔して出来ないのか？

くっ…!



もう殺してえ！ 死んだ方がましだわ！

神聖なセーラーズに身を包んだ戦士が！ 何故こんな事をつ！



だがお前が死ねば罪もなく操られていた子供達も死ぬぞ

セーラー戦士がそんな事でいいのか？ 自らの感情に流されて… そんな事を口走つて…

こんな恥辱もう耐えられない…でもっ…!!

ん…ふうつ
あふあつ…♡♡

この恥辱と引き替えに…
助かる命が
あるというのなら…!

あ…ああつ♡
ああんつ…♡

この…身体中に
電気が走るような
快感…すごいっ♡

な…
何なのっ？

エエエ

エエエ

ンケツ♡
ンケツ♡

は…は…
は…は…

ンケツ♡

ンケツ♡

アアア





ネプチューンよ…
その程度の量では
子供達は死ぬぞ…
もつと愛液を出せ

そんな…っ！



神聖なセーラー
スーツの手袋が
こんながいいなんて！
でもっ…！

んんっ…



そうだ…
それでいい…
クククツツ…！

いやあ♥
見ないでっ！



そうだ…ウラヌスに
変身して自慰に耽る姿を
見られた所を想像してみろ…
愛する者に自分が痴態を
晒している所をな…！

ウラヌス…！

オービタル

安心しろ子供達：
お前達はどうかやら
助かるみたいだぞ

さあ…セーラー戦士共が
身を挺して溢れさせる
抗体入り愛液を
心ゆく迄啜るがいい！

きやあああつ
|||

やめてえつ
|||





あぁ…愛液
美味しいですっ…
生き返りますっ♡

すごい…♡
体中に力が
戻ってきて…

また元気に
なってきました！



ひっ…！

もういやあ…

良かったな…
お前達セーラー戦士共が
身を賭して助けた甲斐が
あったというものだ

来ないでえ…



奉仕ついでに
子供達の体力回復に
協力してやるがいい

やめてえっ
！！

えっ？
さつきと全然
大きさが違う……！

さつきは
どうもありがとう♡

やっ……！
おつきすぎる……！
そんなの
挿入らない……っ！

ヴィーナスのお陰で
助かったんだから……
頑張って一杯気持ちよく
してあげるね♡

ズニニニニニ……

いやああ……♡
すごいちやう
挿入っ

ズニニニニニ……

ズニニニニニ……

ズニニニニニ……

ネプチューンは
ウラヌスのしか
挿入れたこと
無いんだよね？

やっ…なに
言っ…つ！

ふあああああ

すごいっ…奥まで
届いてる…っ…

僕たち一生懸命
頑張るから一杯
気持ちよくなっ
てね

頑張っ
て男の良さを
教えてあげるよ！
ウラヌスを忘れさせて
あげるくらいね！

きもちいい…奥で
感じるの初めて…
こんななにいいもの
だったなんてい

ズン

ひっ…あんっ
ダメええっ

ズン

ズン

ズン

あーん♡
奥がゴリ♡
素敵よっ♡
はち♡

ひああ♡
ああ♡
あつ♡
おに♡
しなの♡
いの♡
遅子♡



クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ



ククツッ…子供達が
すっかりお気に
召したようだな

以前はあれほど
気高く美しい
セーラーネプチューンが

今や見る影もない…
敗北とは惨めなものだ

あんっ♡いいっ
いいわよっ♡

あああつ！

セーラー戦士の
リーダーとして
多くの者が憧れる戦士
セーラーヴィーナスも

今はすっかり子供の
与える快樂に
堕ちてしまった

あはっ♡
こども♡いっ♡
きもちいいのっ!
いく♡

いん
ぐひ
うっ
うっ

ズ
ッ

4
2
7
ッ

4
2
ホ
ッ

3
ク
ッ

チ
ク
ッ



イクッ♡

ああ♡
ああ♡
ああ♡

イクッ♡
イクッ♡
イクッ♡
イクッ♡

イクッ♡
イクッ♡
イクッ♡
イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡

ああ…そういうえば
セーラー戦士共に
言い忘れてた事が

お前達を倒す為に
強大なパワーを発揮した
ガキ共の体はもう再生不能…
お前達の定期的な
愛液の補給がなければ
すぐに死ぬぞ

くれぐれも
逃げ出そうなどは
考えない事だな

はむっ♥
んむう…っ



おんふっ♥
んいひい♥
んっひい…♥

しあわせ♥
むぐっ…



あひいっ♡
こども…いいいっ♡
男の子いいのっ!

そうよっ♡
毒液を吐いてえ♡
セーラーネプチューンの
臍内を汚してええっ…

セーラーネプチューンの…
戦士の肉体で浄化してえ
あ…あああああああ

なるほど…
これは要らぬ
心配だったな

ククク…

サ○ットに買い物に行く度に聞かされるテーマソングが良く聞き取れない今日この頃
皆様如何お過ごしでしょうか。

♪そうダニ～やっぱりバカがいい～サ○ットだから～(中略)
♪バカはサ○ットで～ショッピング
♪いつもフレッシュ揃っています～教えてあげますその秘密～
マンセー！マンセー！

としか聞こえないのですが一体何って言うてるんでしょうか…。
同じ古臭いテーマソングでもヨシツヤの方は聞き取れるのですがね…。
♪まいら～いふよしづや～まいどり～むよしづや～ あ～かるひひざし～ゆたかなじかん～

まあそれは兎も角…
今回はかねてより描いてみたかった「お子様にいいようにされるセーラー戦士」編でございます。
小鳥事務所始めて8年に近いのですがこのシチュは初めてだったはず。
今回はお子様相手という所で大人の魅力みちるさんに酷い目に遭ってもらう事にしたんですが…。
みちるさんのリクエストは当サークル絵のリクエストの中で一番多いのですが
キャラ的にはるかさん以外の絡みがなかなか描きにくく…。
今回はかなり無茶な展開ですが、やっぱり子供に敗北シチュはみちるさんが一番映えるんじゃないかと。
髪型といい色といいかなり描きにくいキャラなのですがやっぱりみちるさんあっての小鳥事務所ですから。
小鳥事務所旗揚げの目的はみちるさんをめっちゃくちゃにしたいにゃ～…っていう欲望が高じてのもだったので…。
あれからもう8年ですか…。
今後も評判が良ければ対お子様シリーズを続けてみたいと思っております。はい。

最近体調も芳しくなく、その上頂くメールにも結構叩きのメールが多くてですね…。
って言うてもお一人なのですが週一でみっちり批判メールを下さるのでちょっと減入ってます…。
その方のお気に入りサークル様のようにお前も描け！というメールなのですが
そんなに上手くないので放置しておいて下さると有り難いです。
その方が言うには結構今のジャンルで私は嫌われているそうで…。

某書店様にも委託のお願いメールを出したところ
「貴サークルはリスクを意識せざるえないと思います」
なんて書かれましたし…。
内容がでしょうか？人気がないからでしょうか？下手糞だからでしょうか？
他の文章も結構社会人としては有り得ないすごいメールでしたし…。
こいつにはこの程度で十分、と思われているんでしょう。
でも委託はして頂けるようなのですが…。

このサークルも8年目なのですが少し活動を縮小しようかと思っております。
縮小といっても年2回のコミケとイベントでは必ず新刊は出します！は変わらないのですが
あまりにも体調がヤバイのといろいろ気が減入る事が多いので…。
勿論サークルは10周年目指し細々ながら続けますが以前のような新刊3冊とかはもう体力的に無理です…。
もういい歳ですし大台も見えてきましたし…。

でもキュアサンシャインとキュアムーンライト本は何としても嫌われようと出しますよ！
秋には絶対に！
この間頂いたメールによるとそのうち手袋着用になるとかいう噂らしいですし…。
これは何としてもやらねば！

というわけで、陰気くさいリスクを意識せざるえないサークル小鳥事務所ですが
細々と目立たない石ころ帽子サークルとしてジメジメ日陰で活動していきますので
波長があった方だけで結構ですので今後とも宜しくお願いオタします。
それでは…。

セーラー戦士解剖計画

■発行日 2010 8. 13
■発行元 小鳥事務所
■連絡先 kotorijim@hotmail.com

無断複写・無断転載禁止

小鳥事務所通信 32

パンパカパーン!と言えは横山ノックです。じゃなくて小鳥事務所はかれこれ8周年を迎えました!めでたいな!と言う事なのです。

つまりは始めた時よりも8歳も年をとってしまっって8年分衰え老いさらばえたって事ですな!(涙)

まさかここまで続くとは思いませんでしたが…。で、詳細はスペースが全くないので新刊の後書きに書きました。是非ご一読下されば幸いです。またもでかでかみちるさんを描いちゃったので書くスペースがないのですよ。

凄惨なピンチ画を描きたかったんですけど

何か全く迫力が無くて残念な感じですが…。

で、せっかくなので

次回新刊予定を…。

今回は間違いなく

キュアサンシャイン

なのです!

その次は秋御登場予定

噂のキュア

ムーンライト本

ですよ!

なんちゆうキャラ…

なんちゆうキャラを

出してくれたんや…

プリキュアはんは…

これに比べると

山岡はんのは

カスや…(謎)

ではまた次回!!

2010.0813★小鳥事務所★



■発行日:2010年8月13日■

発行元:小鳥事務所 ■連絡先:kotorijim@hotmail.com

For Adult

セーラー戦士

解剖計画

